

証券コード：6258

第66期 Hirata Report

平成28年4月1日～平成29年3月31日



Hirata The Global Production Engineering Company

平田機工株式会社

株主の皆さまへ

代表取締役社長 平田 雄一郎



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社は、平成29年6月15日をもって、東京証券取引所JASDAQ市場から東京証券取引所市場第一部に市場変更いたしました。これもひとえに、皆さまの温かいご厚情ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後もお客さまの願いを形にできる、社会に役立つ企業として、新しいものづくりの創造に挑戦し、企業価値の向上を目指してまいります。

さて、第66期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国では労働市場の回復から個人消費が牽引する緩やかな景気回復が持続しており、欧州でも金融政策や財政政策のもとで個人消費主導の緩やかな拡大が続いております。また中国では、不動産投資の拡大やインフラ関連投資が底堅く推移しました。一方、国内景気は、円安基調に転換したことから輸出企業を中心に企業業績が改善しており、個人消費も雇用

所得環境の改善により持ち直すなど緩やかな回復基調が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、海外子会社との協力、連携により受注量の拡大や現地調達、現地生産比率を高めることでコスト競争力を強化してまいりました。また、生産量の増大に対し、生産リソースの最適な配分による負荷調整を積極的に行い、内製化率の拡大を推進するとともに、仕入体制の見直しによるサプライチェーン全体のさらなる効率化を進めるなど生産体制の強化を図り、生産量の増大と収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は805億42百万円(前期比51.8%増)となり、営業利益は82億47百万円(前期比182.0%増)、経常利益は80億39百万円(前期比184.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は58億91百万円(前期比243.9%増)となりました。なお、当期の配当につきましては、1株あたり100.0円の配当を実施いたします。

通期業績の見込みについて

平成30年3月期の見通しにつきましては、個人消費が堅調に推移する欧米諸国や企業業績の改善が見られる日本などにより、世界経済は全体的に緩やかな景気回復を維持することが見込まれます。その一方で、米国の政権交代に伴う今後の経済政策の不確実性や英国のEU離脱問題などを受け、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、自動車関連では低燃費エンジンや電気自動車などの継

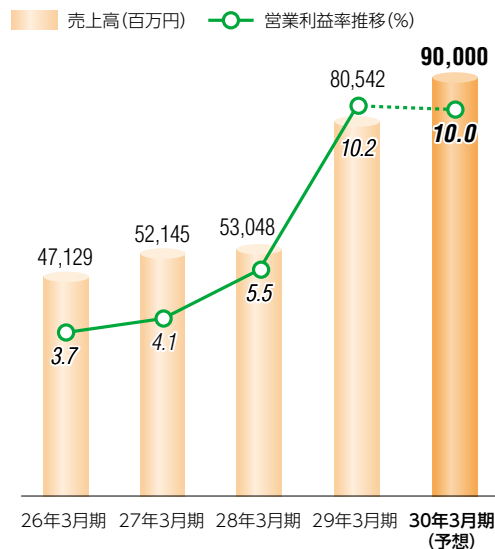
続受注、半導体関連では有機ELディスプレイ関連の蒸着装置やIoT関連案件の拡大を見込んでいます。そのため、引き続き事業拡大が期待できる市場や分野への積極的な展開に加え、コスト競争に対応するために効率的な生産体制の構築など、グローバルな視点からの最適化と収益性の向上を図ってまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 平成29年3月期 累積実績と平成30年3月期の業績予想(連結)

項目	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 予想通期
売上高	805億円	900億円
営業利益	82.4億円	90億円
経常利益	80.3億円	88億円
親会社株主に帰属する当期純利益	58.9億円	60億円
1株あたり当期純利益	624.39円	635.90円
1株あたり配当金	100.00円	100.00円

■ 連結売上高・営業利益率推移



有機EL関連および電気自動車関連生産設備 高い水準での受注継続

現在、当社において好調である有機EL関連および電気自動車 (EV) 関連生産設備の状況をご説明いたします。

有機EL関連生産設備

◎スマートフォンの有機ELパネル採用により真空蒸着装置の受注増

ここ数年、スマートフォンの有機ELパネル採用による設備投資が本格化しています。当社の有機EL関連生産設備の初売上は2003年。技術、品質、納期対応力などがお客さまに認められ、実績を積み上げ、徐々に売上を伸ばしてきました。今後も、有機EL生産設備の心臓部である真空蒸着装置の受注が高水準で継続する見込みです。

※有機EL関連生産設備については、半導体関連生産設備事業に算入しております。

◎2016年10月、生産スペース拡大

有機EL関連の生産スペース拡大のため、熊本東工場 (熊本市北区植木町) にクリーンルームなど約2,570㎡の増築を2016年5月に着工し、同年10月に完成、稼働を開始しました。これにより、生産スペースが約4,400㎡に拡大し、さらに旺盛となる生産の増加に対応することができま



▲熊本東工場：赤枠が増築部分

電気自動車関連生産設備

◎EVメーカーからの継続受注を見込む

2017年3月期、当社はEVメーカーより新たに電気自動車関連生産設備の受注に成功し、累計受注額は118億円を超えております。当社は2000年ころより、北米自動車メーカーを中心に、エンジン・トランスミッションなど、いわゆるパワートレインの組立設備を毎年多数受注しており、高い評価を得ています。今後、温室効果ガス削減に向けた技術革新、設備投資はさらに強力に推進される見込みです。低燃費エンジン関連設備や、電気自動車関連設備の継続受注に努めます。



▲当社の工場内、自動車関連生産設備のイメージ

東京オフィスを港区に移転

2016年10月、東京オフィスを品川区戸越から港区海岸に移転いたしました。駅、空港などからのアクセスも良く、利便性に優れ、機動力を活かすことができます。なお、1981年から本社であった品川区戸越の自社ビルは売却いたしました。



▲港区海岸、当社オフィスがある汐留ビルディング

海外インターンシップ事業 熊本の高校生HCA訪問

2016年10月、アメリカの当社子会社Hirata Corporation of America (HCA) にて、熊本の工業高校生10名のインターンシップを受け入れました。この取り組みは、熊本県教育委員会による県産業界の発展に寄与するグローバルな人材育成の一環です。当社が関わる地域・社会とのつながりを大切にし、ともに成長していきたいと願っております。



▲HCAの工場内で設備の説明を聞く高校生

個人投資家向け会社説明会、 決算説明会などを実施

当社の知名度向上や株主の増加などを目的として、機関投資家、アナリスト、個人投資家に向けた会社説明会や決算説明会を実施しています。2016年度は、東京、宮城、熊本にて開催し、たくさんの方にご参加いただきました。熊本で行われた説明会では、社長の平田雄一郎が決算状況、熊本地震の復旧支援に向けた取り組みなどについて説明しました。今後も、各地での開催を計画しており、この他、機関投資家面談も数多く行っています。より多くの方へ当社を知ってもらうため、引き続き、IR活動を強化してまいります。

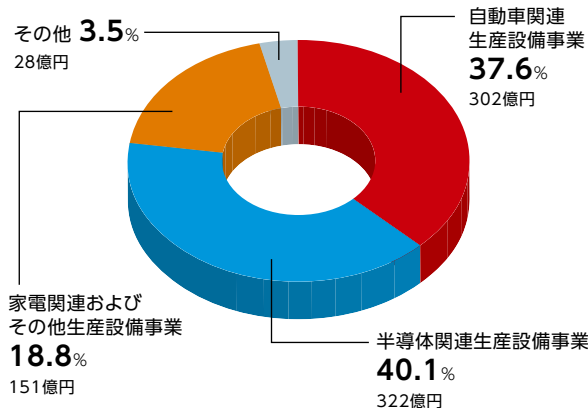


▲2016年11月、熊本で実施した会社説明会には約170名の方が参加

事業部門別概況

当期売上高内訳

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)



売上高

805 億円

受注高

943 億円

受注残高

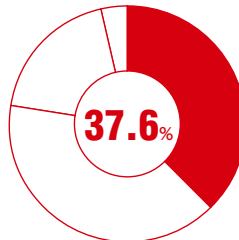
455 億円

当期間の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が302億円で全体の約37.6%、半導体関連が322億円で約40.1%、家電関連およびその他が151億円で約18.8%となっております。自動車および半導体関連の大幅増収により、売上高は過去最高額となる805億円となりました。

今期の売上高は、900億円を予想しております。

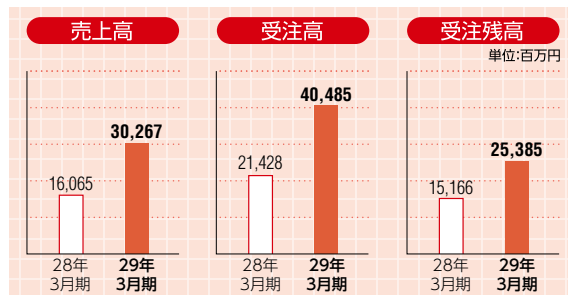
自動車関連生産設備事業

エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **302** 億円

対前年同期増減率 **+88.4%**



第66期実績

自動車関連生産設備は、北米市場および中国市場において、パワートレイン関連設備の売上高が拡大したことに加え、EVメーカーからの受注獲得、さらに国内自動車部品メーカー向け設備などが堅調に推移し、売上高は前期比88.4%増の302億67百万円となりました。

今期の売上高は、通期で340億円を予想しております。



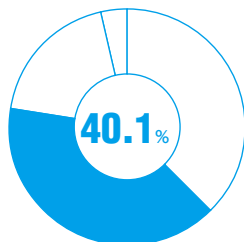
トランスミッション組立ライン



自動車部品のグリッパー搬送設備

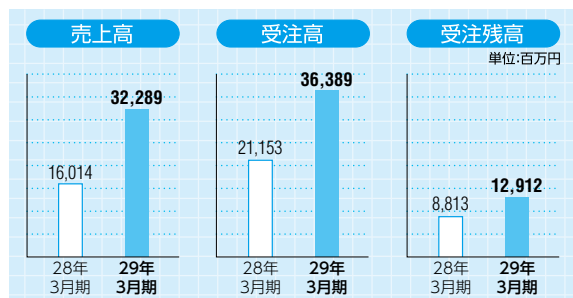
半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、有機EL関連生産設備、FPD関連生産設備などの製造・販売



売上高 **322** 億円

対前年同期
増減率 **+101.6%**



第66期実績

半導体関連生産設備は、シリコンウェーハ搬送設備の売上高の拡大、有機EL関連の蒸着装置の受注高、売上高が引き続き堅調に推移し、売上高は前期比101.6%増の322億89百万円となりました。

今期の売上高は、通期で340億円を予想しております。



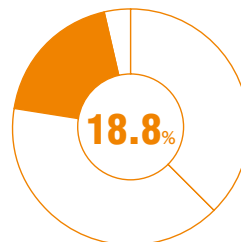
真空プラットフォーム



有機EL蒸着装置

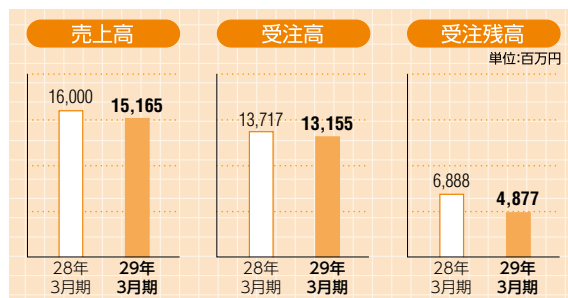
家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **151** 億円

対前年同期
増減率 **△5.2%**



第66期実績

家電関連およびその他生産設備は、白物家電を中心とした組立設備やタイヤ関連設備に一服感がみられたことに加え、当初計画からの売上時期の延期などにより、売上高は前期比5.2%減の151億65百万円となりました。

今期の売上高は、通期で180億円を予想しております。



全自動連続薄切装置
ティシュー・テックススマートセクション
(サクラファインテックジャパン株式会社)



家電部品組立ライン

連結財務諸表(要約)

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (28.3.31)	当連結会計年度 (29.3.31)
【資産の部】		
流動資産	40,758	67,466
現金及び預金	7,631	8,311
受取手形及び売掛金	18,734	37,428
電子記録債権	3,060	8,996
たな卸資産	8,262	8,461
繰延税金資産	1,626	1,820
その他	1,505	2,581
貸倒引当金	△ 64	△ 133
固定資産	18,923	20,780
有形固定資産	15,653	16,248
建物及び構築物(純額)	3,915	4,166
土地	9,717	9,808
その他	2,020	2,273
無形固定資産	398	623
投資その他の資産	2,872	3,907
投資有価証券	2,278	2,562
破産更正債権等	43	38
退職給付に係る資産	—	790
繰延税金資産	83	13
その他	697	753
貸倒引当金	△ 230	△ 251
資産合計	59,681	88,246

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (28.3.31)	当連結会計年度 (29.3.31)
【負債の部】		
流動負債	30,592	48,217
支払手形及び買掛金	5,366	9,384
電子記録債務	5,468	10,486
短期借入金	6,304	11,998
1年内返済予定の長期借入金	6,518	4,397
前受金	2,347	4,651
その他	4,586	7,299
固定負債	7,504	12,457
長期借入金	4,305	9,406
退職給付に係る負債	329	—
その他	2,869	3,050
負債合計	38,097	60,674
【純資産の部】		
株主資本	16,803	22,515
資本金	2,633	2,633
資本剰余金	2,414	2,409
利益剰余金	12,908	18,625
自己株式	△ 1,153	△ 1,153
その他の包括利益累計額	4,444	4,716
非支配株主持分	336	340
純資産合計	21,584	27,571
負債純資産合計	59,681	88,246

ポイント

1 受取手形及び売掛金、電子記録債権

受取手形及び売掛金、電子記録債権の売上債権は、売上高の増加により、前期比246億29百万円の増加となりました。

2 支払手形及び買掛金、電子記録債務

支払手形及び買掛金、電子記録債務の仕入債務は、仕入や外注費などの増加に伴い、前期比90億35百万円の増加となりました。

3 有利子負債

有利子負債は、生産高の増加に伴い資金ニーズが高まり、前期比86億74百万円の増加となりました。

■連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 27.4.1 至 28.3.31)	(自 28.4.1 至 29.3.31)
売上高	53,048	80,542
売上原価	42,794	64,155
売上総利益	10,254	16,386
販売費及び一般管理費	7,329	8,139
営業利益	2,924	8,247
営業外収益	161	207
営業外費用	260	415
経常利益	2,825	8,039
特別利益	0	375
特別損失	92	14
税金等調整前当期純利益	2,734	8,400
法人税等	1,034	2,451
当期純利益	1,700	5,949
非支配株主に帰属する当期純利益(損失)	△ 13	57
親会社株主に帰属する当期純利益	1,713	5,891

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 27.4.1 至 28.3.31)	(自 28.4.1 至 29.3.31)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,651	△ 5,862
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 872	△ 1,445
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,549	8,152
現金及び現金同等物に 係る換算差額	12	△ 164
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 1,757	679
現金及び現金同等物の 期首残高	9,389	7,631
現金及び現金同等物の 期末残高	7,631	8,311

ポイント

4 売上高

半導体関連生産設備が有機EL蒸着装置を中心に大幅増収、自動車関連も北米市場向けのパワートレイン設備に加え、電気自動車関連設備などが堅調に推移した結果、当社過去最高額となる前期比51.8%増の805億42百万円となりました。

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、58億62百万円の減少となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益84億円に対して、売上債権が245億57百万円増加、仕入債務が91億55百万円増加、前受金が23億85百万円増加したことによります。

5 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の増加に加え、原価率の低減などにより、営業利益は前期比182.0%増の82億47百万円となりました。経常利益は、前期比184.5%増の80億39百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比243.9%増の58億91百万円となりました。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

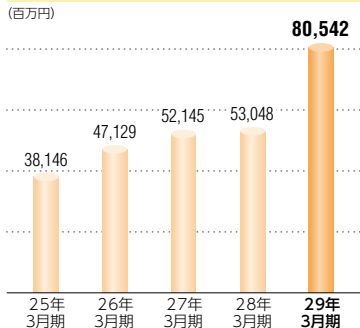
投資活動による資金は、有形固定資産の取得18億53百万円などにより、14億45百万円の減少となりました。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

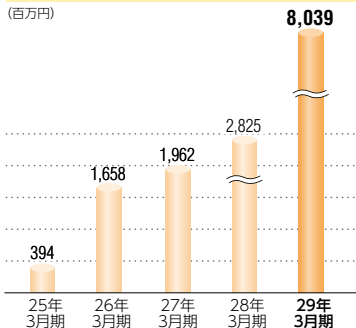
財務活動による資金は、81億52百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金の増加56億65百万円、長期借入による収入102億円、長期借入金の返済による支出72億19百万円などによります。

財務ハイライト

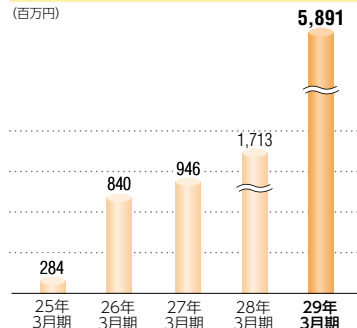
売上高



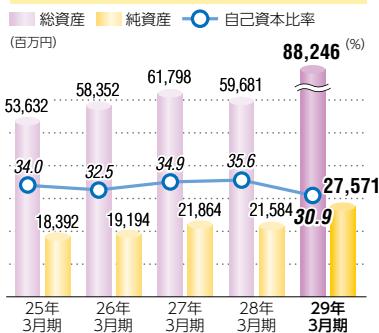
経常利益



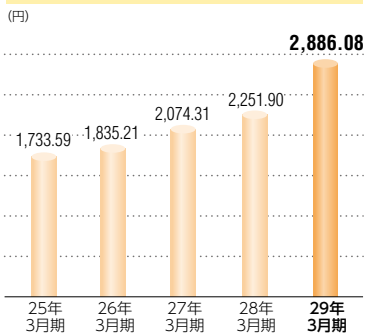
親会社株主に帰属する当期純利益



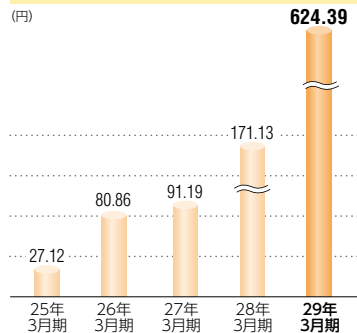
総資産／純資産



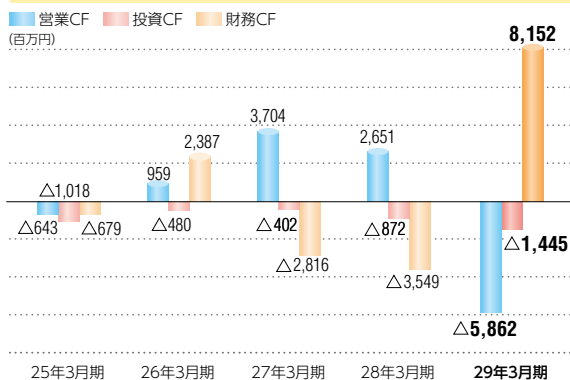
1株当たり純資産額



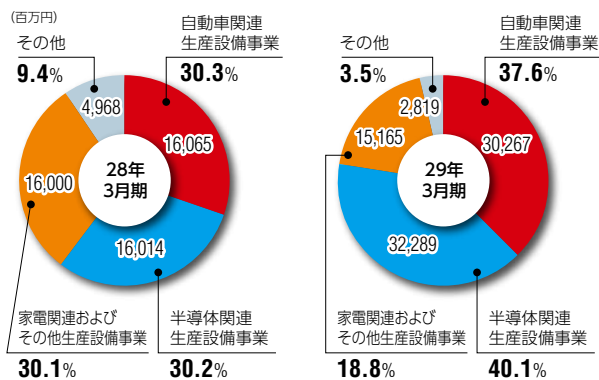
1株当たり当期純利益



キャッシュ・フロー



事業別売上高および比率



会社概要 (平成29年6月27日現在)

会社名 平田機工株式会社
会社設立 1951年12月29日
資本金 2,633百万円
従業員数 2,111名(連結 平成29年3月31日現在)
業務内容 各種生産システム、産業用ロボットおよび
 物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地 熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員 代表取締役社長 平田 雄一郎 常勤監査役 元田 直邦
 代表取締役副社長執行役員 橘 勝義 監査役 村田 邦夫
 取締役執行役員 田中 敏治 監査役 鳥巢 宣明
 取締役執行役員 安高純一郎 監査役 今村 憲
 取締役執行役員 藤原 五男 執行役員 河本 行広
 取締役執行役員 平賀 靖英 執行役員 印南 静男
 取締役執行役員 本郷 仁基 執行役員 藤本 靖博
 取締役執行役員 黒田 健治 執行役員 兼子 利憲
 取締役執行役員 市原 雄一 執行役員 大久保 洋
 取締役執行役員 平田正治郎 執行役員 谷口 敬隆
 社外取締役 雀部 博之
 社外取締役 鳴沢 隆

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

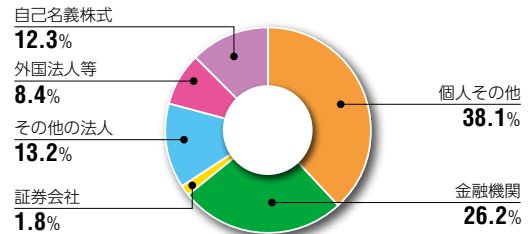
- 発行可能株式総数 37,000,000株
- 発行済株式総数 10,756,090株
- 株主数 3,829名

大株主の状況

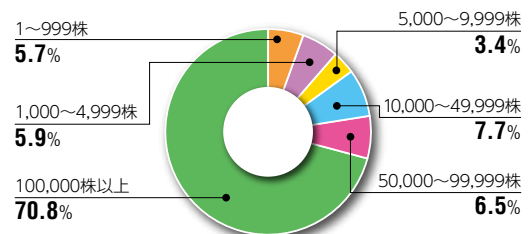
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
平田 雄一郎	583,100	6.18
SMC株式会社	500,000	5.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	478,100	5.07
株式会社肥後銀行	456,000	4.83
平田機工社員持株会	415,310	4.40
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	4.24
平田 正治郎	326,500	3.46
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.89
平田 隆三郎	261,500	2.77
有限会社コンパス	224,000	2.37

上記のほか、当社が保有している自己株式が1,320,574株あります。
 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモおよび株主優待制度

株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。	同事務取扱場所	〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話照会先〉 0120-782-031(フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月開催	公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。
単元株式数	100株		
証券コード	6258		
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度

【対象株主】 毎年、3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単位(100株)以上を保有する株主様
【優待内容】

1. 寄付もしくはクオ・カード

以下①②のいずれかを選択していただけます。

①熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付

※名義は「平田機工株式会社(株主寄付口)」となります。

②熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオ・カード3,000円分

※3,000円分全額使用できます。



©2010 熊本県くまモン®K1761

2. 熊本城復興城主の特典付与

希望される株主様に「復興城主」として以下の特典が付与されます。

- ①城主証の交付
- ②城主手形の交付
- ③城主手形の提示により、指定の市内観光施設の入場料免除および協賛店割引等
- ④デジタル芳名板への氏名の掲示(城彩苑 湧々座2階に設置)
- ⑤復興城主限定ブックレットの贈呈(熊本城総合事務所または城彩苑 湧々座にてお渡し)

※特典の詳細につきましては、熊本城総合事務所(TEL:096-352-5900)までお問い合わせください。



©熊本城総合事務所

【贈呈時期】 平成29年7月下旬予定。以降、毎年同時期を予定

①クオ・カードご希望の株主様へ発送

②「復興城主」特典をご希望の株主様へ仮の城主手形を発送。正式な城主証、城主手形は2ヵ月ほど遅れて発送予定です。

平田機工株式会社

本 社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901

●IR情報に関するお問い合わせ先

平田機工株式会社
管理本部 経理部 IRグループ IR・広報課

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail hirata_info@hirata.co.jp